

一般質問Q&A

○市内各区の人口減少に伴う弊害について ○教職員の発言について 他

新風会・公明
松本聖司郎 議員



問 市内の、特に村部では区民の減少により、区の活動の一人当たりの負担増、一世帯当たりの区費を高くせざるを得ない区が出てきている。

答 今後もこういった区は増え、区費や区の活動量の格差が発生し、また離れていくという悪循環が加速すると予想されるが、今後の対策について伺う。

問 市内10地区での市民意見交換会でも、区の存続について不安視する声があった。現在、市内に112の区があるが、市の行政区であるとともに、長年にわたり伝統・文化・歴史を培ってきた自然発生的な地域コミュニティとしての側面もある。

答 行政との関係のことで負担になることがあれば、運営が難しくなっている小規模な区には、行政との関係だけを近隣の区に委ねる方式や、複数の区が連携して一つの区になる方式等、文化伝統を後世に残しながら負担となる部分の軽減を図る方法を研究し、実態に応じた区のあり方、持続可能な地域コミュニティの考え方について、第6次勝山市総合計画において提案していきたい。



問 小学生のお子さんがじめじめに遭い、その際、教職員から不適切と捉えられる発言があり、保護者が憤慨したとの相談を受けた。

答 市はこういう事案に対してどのような対策を取っているのか。

問 議員ご指摘の発言について該当校に確認し、その発言で保護者が不愉快な気持ちになったのであれば配慮に欠けていたことになり、教育委員会から、教職員は保護者や児童・生徒の置かれている状況を考えて発言するよう指導を行った。

一般質問Q&A

○大手坂水路並びに旧勝山町の網状水路系統について ○マイナンバーカードの普及について 他

市政会
丸山忠男 議員



問 今年1月大雪の際に本町地区で起きた6件の家屋への浸水原因は、旧勝山町の網状水路系統に上流からの投雪が2号水路で詰まり、坂道に溢れ出したことによるものと思われる。

答 今後このような浸水被害を起さないためには、水路の改善と流雪規制が不可欠である。また、融雪装置が機能しなかった点、除雪されていない道路が見えられた事案について、理事者の見解を伺う。

問 令和3年1月の大雪の際の浸水被害を踏まえ、水路の水量を減らす対策や新規水路の設置について、関係者と協議し、実施していく。また、流雪時間帯の整理等、市の対策と地元区の対応について協議していく。

答 融雪装置や除雪に関する課題については、次の3点を実施していきたい。

- ・融雪設備を遠方監視し、融雪ポンプを強制運転できるように改修する。
- ・融雪路線に監視カメラを設置し、遠方監視する。
- ・除雪車に衛星利用測位システム（GPS）を搭載して、作業状況を管理する。

問 国は、マイナンバーカードの普及に向けて最大5000円のポイントを還元する事業を行い、県も独自に県産品のセットを贈呈するなどしている。

答 勝山市の普及状況と今後の対策について理事者の見解を伺う。

問 8月末現在の勝山市の普及率は、県内トップの45.58%で、年内に50%を達成できる見込みである。

答 申請者に3000円分の電子マネー等を贈呈する市独自の普及促進策等に加え、家庭へ職員が訪問し個別に申請対応をするサービスを開始していきたい。

